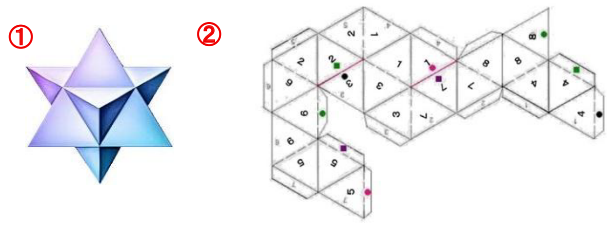


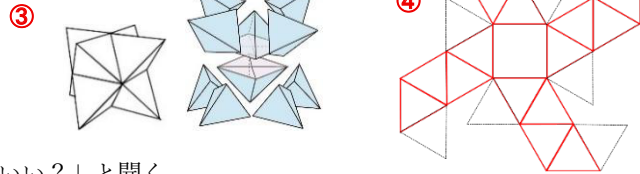
## 『タレスメソッド』の誕生秘話

ミカ：2019年「ナオキマンの369の秘密」を見る  
パズルが好きなミカは、それを解きたいと思う  
知人から「①マカバ」を教えてもらう



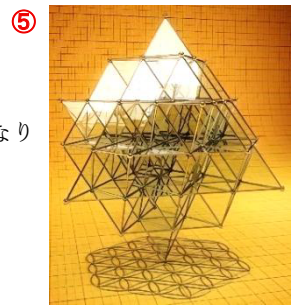
## 「タレスの三角定規」のルーツは『マカバ（星形八面体）』

ミカ：マカバの展開図をHPで見つけた  
②ヘビのように長く複雑で、作るのが難しかった  
そこで、カヨに「マカバの展開図を作成して」と頼んだ



カヨ：星型ではなく立方体に見えたので、「半分に分割してもいい？」と聞く  
③ピラミッドの斜面の正三角形に正四面体を付けられればいいと判断し「④風車のような展開図」を作った

ミカ：⑤マカバを8個くっつけて、フラワー・オブ・ライフ（メタロンキューブ）を作りたい



カヨ：⑥マカバ8個をくっつけて作成

- ⑦マカバとマカバの間のくぼみが『ピラミッド型』で、「ピラミッド型を挿入すると平面」になり「正八面体を挿入するとマカバとマカバのジョイント」になることに気づく
- ⑧ピラミッドを4分割してみたいと思い4分割の立体を作成（後に『直角正三角錐』と命名）
- ⑨できた4個の『直角正三角錐』の正三角形部分と、正四面体の正三角形部分をくっつけると「立方体」ができた
- ⑩これらは手で持つことはできても、形を保つことができないので「透明な立方体」を作り入れる
- ⑪立方体の中にあるはずの正四面体が見えないので、角にある『直角正三角錐』を除けると、中学の数学に出てくる「透明な立方体の中に、正四面体が入っているもの」になることを発見！（後に『タレス立方体』と命名）
- ⑫透明部分は、ピラミッドを4分割して作成したもので、4個を合わせるとピラミッド型になることは既に把握済み
- ⑬『直角正三角錐』の直角二等辺三角形の角度と、正三角形を2等分にした直角半正三角形の角度が、現在の三角定規セットの角度と同じであることに気づく。しかし、辺の組み合わせが現在の定規セットと違うので悩む  
・様々な立体ができるのは何故なのか？あちらこちらの大学教授や小・中・高校の先生、有名 YouTuber などに聞く
- ⑭2024年4月、NHK『3か月でマスターする 数学』で「タレスの定理（円周角の定理）」を知る（カヨ）
- ⑮私たちの三角定規セットの斜辺と斜辺が同じ長さなのは『タレスの定理』を忠実に再現しているからと確信する  
・その後、『タレスの定理』は「水戸黄門の印籠」のような役割になり、数々の発見と証明をしながら現在に至る

※『直角』と『半径』が大切で、『直角半正三角形の30度・60度・90度』は「宇宙3・6・9の秘密」かもと考えている

検索：タレスの直角三角形メソッド  
<https://triangularem3.com>